



町長日誌

No.262

町長日誌の第 262 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を
町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

8月18日（月曜日） AM 9:30

お盆休みを兼ねた夏季休暇が終わり、今日から通常出務となります。昨日、道北の幌延町・豊富町と天塩町に大雨洪水警報と土砂災害警戒情報が発表され、天塩町では 24 時間に 156mm、幌延町では 140mm と観測史上最大の降雨となり、幌延町では河川が氾濫し床上・床下浸水などの被害がありました。まさにゲリラ豪雨で、幌延町市街の道路では人の膝ぐらいまでの冠水となったそうです。幸い人的災害はなかったものの家屋への浸水や農地への被害、土砂崩れなど復旧作業が大変なことと思います。大雨災害と言えば思い起こすのが平成 10 年 9 月 15 日の台風 5 号の大雨洪水被害です。興部町が初めて激甚災害に国から指定され、興部川をはじめ町内すべての河川が氾濫し、宇津・宮下・本町・元町・住吉など多くの地区が床上・床下浸水となり水道では宇津浄水場からの送水管が流され長期間断水が続き、自衛隊の給水支援を受けるなど未曾有の災害となりました。復旧事業に 50 億円以上の費用を要し町財政にも大きなダメージを与えたのです。もう 27 年も前のこととなりますが、その後も平成 16 年 1 月の大雪災害と 9 月の強風災害、そして平成 30 年の胆振東部地震によるブラックアウト（停電災害）と幾度も私たちは災害を受けているのですが時が経つと忘れてしまうのが人の性です。「災害は忘れた頃にやってくる」皆さんも今年お配りした新しい「防災ハザードマップ」をこの時期に今一度見直していただき「備えの心」を持ってください。お願いいたします。

8月6日（水曜日）

6 月に選挙があり初当選された山崎彰則紋別市長が就任のご挨拶に来庁されました。就任から一月以上経っていますから幾度か会議などでお会いにはしているのですが初めて対面でのご挨拶と懇談をさせて頂きました。私からは「様々な懸案事項があるが広域での取り組みが今後益々重要になる。例えば医療等においては透析治療の体制強化は必須なのでリーダーシップをお願いしたい。」と申し上げました。市長から具体的なお話はありませんでしたが「一生懸命やりたい」とのお話がありました。

8月14日（木曜日）

午前 10 時から沙留漁協が海の恵みに感謝し魚たちの霊を慰める「魚霊祭」に出席しました。神事のあと二隻の船に乗り沖に出てお神酒を海に捧げるのです。現在、道内で水揚げ量が安定しているのはオホーツクだけです。今年は春からニシン・毛ガニが豊漁です。ホタテ貝は少し小振りですが価格が高く推移しています。昨年悪かった稚貝の数量・生育共に今年は良く来年以降も安定的な生産が見込めそうです。心配なのはマスと秋サケで、海水温の上昇が悩みの種です。水温が下がりマスや秋サケの豊漁を期待しましょう。

午後 5 時半からは沙留漁協横にある海上遭難者供養塔の前で関係者が集まり供養式と灯籠流しに出席しました。この供養式は沙留にある曹洞宗万霊寺と浄土真宗等正寺が隔年で読経を務め参列者が焼香を行います。その後、遺族がこしらえた船形灯籠などを持って船に乗り沖合で灯籠流しを行います。遭難者は近年では 1 名だけですが、これから時化の多い季節ですから、どうか安全操業をお願いします。

2 日～3 日に行われた「第 40 回おこっぺ夏祭り」5000 発の花火や S T V ラジオの公開放送、そして沢山の屋台など多くの皆様のご協力を頂き、天候にも恵まれ素晴らしいお祭りが出来ました。16 日には純烈のコンサートが総合センターで開催され約 400 人の来場がありました。こちらも楽しいコンサートでした。いずれも実行委員会の皆様方のご努力のお陰です。心から感謝申し上げます。そして毎年、花火にご協力いただいているニトリ様にも心からお礼を申し上げます。

子どもたちの夏休みも終わります。楽しい思い出が出来て、きっと成長したことと思います。新学期も大いに楽しみましょう。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。